



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9069 URL <https://www.senkogrouphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 小久保 悟 TEL 03-6862-8842
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	465,449	9.6	20,356	17.0	21,040	19.1	12,656	9.1
2021年3月期第3四半期	424,603	△0.7	17,400	1.3	17,663	2.5	11,605	6.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 13,254百万円 (9.3%) 2021年3月期第3四半期 12,126百万円 (6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	86.36	71.68
2021年3月期第3四半期	76.32	70.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	460,559	151,377	30.2	959.38
2021年3月期	436,066	146,120	30.9	909.55

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 139,041百万円 2021年3月期 134,783百万円

(注) 2022年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2022年3月期	—	17.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	15.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	625,000	9.2	25,200	17.1	25,600	15.2	14,800	3.9	100.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	152,952,221株	2021年3月期	152,952,221株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	8,023,589株	2021年3月期	4,764,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	146,554,033株	2021年3月期3Q	152,064,112株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式（2022年3月期3Q 338,276株、2021年3月期 341,740株）及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式（2022年3月期3Q 338,607株、2021年3月期 348,873株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日 以下「当第3四半期」)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の第5波の収束以降、徐々に経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、足元では変異株の発生により感染が再拡大しており、燃料価格の高騰ともあいまって先行きは不透明な状況にあります。

当第3四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	424,603	465,449	40,846	9.6%
営業利益	17,400	20,356	2,956	17.0%
経常利益	17,663	21,040	3,376	19.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,605	12,656	1,051	9.1%

営業収益面では収益認識会計基準等の適用影響などがあり、利益面では燃料価格の上昇影響などがありましたが、グループ全体で拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、M&Aを推進した結果、連結営業収益、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

当第3四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	290,084	324,007	33,922	11.7%
セグメント利益	15,702	18,660	2,958	18.8%

燃料価格の上昇影響などがありましたが、前年同期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少した物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は3,240億7百万円と対前年同期比339億22百万円の増収、セグメント利益は186億60百万円と対前年同期比29億58百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	121,180	114,129	△7,051	△5.8%
セグメント利益	2,412	2,301	△110	△4.6%

4月に家庭紙卸売のアズフィット株式会社を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、収益認識会計基準等の適用影響、燃料販売における仕入価格の上昇などにより、営業収益は1,141億29百万円と対前年同期比70億51百万円の減収、セグメント利益は23億1百万円と対前年同期比1億10百万円の減益となりました。

(その他事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	13,337	27,312	13,975	104.8%
セグメント利益 又は損失(△)	△209	167	377	—

2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内株式会社を連結子会社化し、拡販ならびにコスト改善に努めるとともに、10～12月にかけては、個人消費に持ち直しの動きが見られたことなどにより、営業収益は273億12百万円と対前年同期比139億75百万円の増収、セグメント利益は1億67百万円と対前年同期比3億77百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、4,605億59百万円となり、前期末に比べ244億92百万円増加いたしました。

流動資産は、1,692億23百万円となり、前期末に比べ53億32百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が119億4百万円減少したものの、受取手形、営業未収入金及び契約資産が128億71百万円、電子記録債権が10億45百万円、商品及び製品が10億48百万円、その他流動資産が23億28百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、2,913億35百万円となり、前期末に比べ191億59百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が157億91百万円、無形固定資産が38億19百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期末における負債合計は、3,091億81百万円となり、前期末に比べ192億35百万円増加いたしました。

流動負債は、1,313億79百万円となり、前期末に比べ23億35百万円減少いたしました。これは、支払手形及び営業未払金が71億87百万円、電子記録債務が10億32百万円、短期借入金が13億31百万円増加したものの、1年内償還予定の社債が70億94百万円、未払法人税等が32億75百万円、賞与引当金が24億60百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、1,778億2百万円となり、前期末に比べ215億71百万円増加いたしました。これは、社債が99億76百万円、長期借入金が80億20百万円、長期リース債務が15億19百万円、その他固定負債が20億79百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期末における純資産は、1,513億77百万円となり、前期末に比べ52億56百万円増加いたしました。これは、自己株式の取得により34億97百万円減少したものの、利益剰余金が79億39百万円、非支配株主持分が10億18百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前期末から0.7ポイント低下し、30.2%となりました。

なお、2020年12月1日に行われた株式会社UACJ物流との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、2022年3月期第2四半期連結会計期間に確定したため、財政状態については、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いて前期末との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年11月12日の「2022年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,530	40,625
受取手形及び営業未収入金	82,689	—
受取手形、営業未収入金及び契約資産	—	95,560
電子記録債権	2,519	3,565
商品及び製品	12,990	14,038
仕掛品	316	170
原材料及び貯蔵品	651	748
その他	12,221	14,550
貸倒引当金	△28	△35
流動資産合計	163,891	169,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,201	83,248
土地	81,628	88,016
その他(純額)	47,723	54,081
有形固定資産合計	209,554	225,345
無形固定資産		
のれん	9,979	11,819
その他	8,034	10,014
無形固定資産合計	18,014	21,834
投資その他の資産		
投資有価証券	17,398	17,347
長期貸付金	507	258
退職給付に係る資産	5,471	5,954
差入保証金	13,086	13,964
繰延税金資産	4,902	3,656
その他	3,647	3,381
貸倒引当金	△407	△407
投資その他の資産合計	44,606	44,155
固定資産合計	272,175	291,335
繰延資産		
開業費	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	436,066	460,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	44,383	51,570
電子記録債務	8,586	9,619
1年内償還予定の社債	7,118	24
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	10,009	10,002
短期借入金	22,036	23,368
リース債務	4,253	4,720
未払法人税等	5,377	2,102
賞与引当金	6,247	3,787
役員賞与引当金	420	309
災害損失引当金	68	25
その他	25,211	25,848
流動負債合計	133,715	131,379
固定負債		
社債	30,024	40,000
転換社債型新株予約権付社債	22,108	22,088
長期借入金	74,887	82,908
リース債務	14,881	16,401
役員退職慰労引当金	260	353
特別修繕引当金	98	156
株式給付引当金	149	164
退職給付に係る負債	7,103	6,868
資産除去債務	869	935
その他	5,847	7,926
固定負債合計	156,230	177,802
負債合計	289,946	309,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,564	26,564
資本剰余金	29,806	29,608
利益剰余金	81,211	89,150
自己株式	△4,638	△8,135
株主資本合計	132,944	137,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,759	1,598
繰延ヘッジ損益	32	27
為替換算調整勘定	57	135
退職給付に係る調整累計額	△10	90
その他の包括利益累計額合計	1,839	1,852
新株予約権	410	391
非支配株主持分	10,926	11,944
純資産合計	146,120	151,377
負債純資産合計	436,066	460,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業収益	424,603	465,449
営業原価	371,517	398,717
営業総利益	53,085	66,731
販売費及び一般管理費	35,685	46,374
営業利益	17,400	20,356
営業外収益		
受取利息	49	79
受取配当金	136	159
その他	1,695	1,896
営業外収益合計	1,881	2,136
営業外費用		
支払利息	870	908
その他	747	543
営業外費用合計	1,617	1,452
経常利益	17,663	21,040
特別利益		
補助金収入	198	248
固定資産売却益	461	82
負ののれん発生益	3,469	—
投資有価証券売却益	35	—
特別利益合計	4,164	330
特別損失		
固定資産圧縮損	217	243
新型コロナウイルス感染症による損失	316	211
固定資産除却損	72	124
災害による損失	—	8
減損損失	2,778	—
投資有価証券評価損	277	—
事業所撤退損	60	—
固定資産売却損	53	—
特別損失合計	3,776	587
税金等調整前四半期純利益	18,052	20,783
法人税、住民税及び事業税	5,001	5,890
法人税等調整額	1,124	1,535
法人税等合計	6,125	7,425
四半期純利益	11,926	13,357
非支配株主に帰属する四半期純利益	321	701
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,605	12,656

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	11,926	13,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	670	△195
繰延ヘッジ損益	△28	△4
為替換算調整勘定	△740	△3
退職給付に係る調整額	298	101
その他の包括利益合計	199	△103
四半期包括利益	12,126	13,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,034	12,669
非支配株主に係る四半期包括利益	91	584

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	290,084	121,180	13,337	424,603	—	424,603
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	2,560	8,775	7,285	18,621	△18,621	—
計	292,645	129,955	20,623	443,224	△18,621	424,603
セグメント利益又は損失 (△)	15,702	2,412	△209	17,905	△504	17,400

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△504百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,778百万円であります。なお、減損損失は特別損失のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、株式会社UACJ物流の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,237百万円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれんの発生益)

「物流事業」セグメントにおいて、センコーナガセ物流株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては134百万円であります。

「その他事業」セグメントにおいて、寺内株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,310百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	324,007	114,129	27,312	465,449	—	465,449
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	3,662	5,291	7,731	16,685	△16,685	—
計	327,669	119,420	35,044	482,134	△16,685	465,449
セグメント利益	18,660	2,301	167	21,129	△773	20,356

(注) 1. セグメント利益の調整額△773百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他事業」セグメントにおいて、ダイヤクリーニング株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては296百万円であります。

また、2020年12月1日に行われた株式会社UACJ物流との企業結合について、取得原価の配分が完了していませんでしたため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、「物流事業」セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。